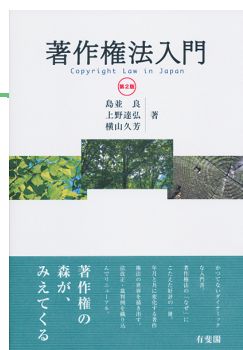


著作権法入門〔第2版〕

島並 良 = 上野達弘 = 横山久芳

2016 年 10 月発売 / 358 頁 / 本体 2600 円 + 税
A5 判 / 並製



編集
担当者
から

私たちの身近には著作権に関係する事柄が数多くあります。例えば、しゃれた乳児用の椅子。大量に生産されていますがこれは著作物でしょうか。また、映画をみると最後にたくさん関係者の名前が出てきます。監督、脚本家、カメラマン、プロデューサー……。著作権者は誰でしょう。では演劇は？ 著名な演劇を学園祭で上演する場合、誰かに断らないといけないのでしょうか。考えてみると本当にいろいろな問題があるのです。著作権を財産として守り、社会として上手に使えるように定めたのが著作権法です。入門、というけど少し厚いな、と思いますか？ それは、わかりやすく解説をしたためです。また、重要な裁判例については別枠で事例や問題になった点を丁寧に説明し、対象物の写真も掲載しています。ただわかりやすいだけでなく、著作権法の奥深さやおもしろさを感じながら読めるオススメのテキストです。(Yo)

Index

I

すっきりわかりやすい構成です。裁判例の紹介のほかに「ステップアップ」という読み物も用意しています。

〔目 次〕

- 第1章 著作権法への招待
- 第2章 著作物
- 第3章 著作者
- 第4章 著作者人格権
- 第5章 著作権
- 第6章 著作隣接権
- 第7章 権利の活用
- 第8章 権利侵害

■いろいろな裁判例も紹介しています。

ラストメッセージ in 最終号事件
RGB アドベンチャー事件
中古ゲームソフト事件
北朝鮮事件
「ちぎれ」雲事件
パロディ＝モンタージュ事件
風呂バンス事件 など

■ステップアップ；少し先を行くコーナー。

入門から踏み出してみましょう。

- ・書体の今後
- ・データベースと投資の保護
- ・職務著作をめぐる議論
- ・書籍の自炊代行
- ・ウェブキャスティングの位置づけ
- ・カラオケ法理の再検討 など